



橋北小学校
学校だより

No.11
学力学習状況調査号
令和8年9月14日

令和8年度全国学力学習状況調査の結果から

4月23日に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。この調査は、全国の6年生を対象に5年生までの学習内容の定着と、学習や生活の状況を調査するものです。今回の結果から見えてきた本校の学力の状況(強みや弱み)、改善に向けての取組等について下記のとおりお知らせします。一人ひとりの結果については1学期末終業式後に個人票をお渡ししました。2学期これから、その結果をもとに、強みをさらに伸ばすとともに、弱みの改善にむけて取り組んでいきます。

1

学力の状況(国語・算数・理科)



本校の正答率を全国平均と比較すると、国語・算数2教科とも全国平均の正答率をやや下回る結果となりました。今回の調査結果からわかった各教科の領域別の結果、及び「強み(○)」と「弱み(▲)」は次の通りです。

国語

- 無解答者0人の問題が、全13問中12問。また、記述問題(文章で解答を書く問題)に対して9割以上の子が最後まで書くことに努力したと答えている。
- ▲領域別にみると、知識及び技能(2)情報の扱い方に関する事項と思考力・判断力・表現力等におけるB書くことに課題がみられる。
- ▲目的に応じて図や表から必要な情報を結び付けたり、問題文の読み取りや適切な言葉の選択に弱さがみられる。
- 児童質問紙より、国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと100%肯定的回答である。
- おうちにある本の数について、全国平均を大きく上回って、「11冊～25冊」が40%、「26冊～100冊」が36%の家庭にある。
- ▲学校の授業外、平日に1日当たり読書をする時間がないあるいは30分未満の子が、77%である。

一番の課題は、「国語の授業が得意である」について否定的な回答をする子どもが半分いることです。国語の思考力判断力表現力を身につけることで、自分の思いや考えを周りにわかりやすく伝えることができ、他教科の学習にも役に立つことを子どもたちに実感を持って経験できるように、授業改善を行います。

また、あらゆる学習活動の中で「漢字を適切に使って文章を書く」ことも、引き続き大切にしていきます。

読書習慣が身につけていない子どもたちに、教室や学校図書館、四日市電子図書館等「読書したくなる環境づくり」を行い、読書習慣を身につけさせていきます。

算数

- 86%の子どもが5年生までに受けた授業では、算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていること、95%の子どもが算数の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと肯定的回答をしている。
- 全16問で無解答率が0%である。
- 小数の仕組みを理解し、条件にある小数をつくることのできるかどうかの問題は、全員正解である。

- ▲立方体・直方体・体積の意味について弱さがみられる。
- ▲割合問題(基準量、比較量、割合の関係)について、弱さがみられる。
- ▲分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述することに弱さがみられる。

一番の課題は、「算数の授業が得意である」について否定的な回答をする子どもが半分近くいることです。表や資料を読み取り判断し、根拠を述べて書くことに弱さがみられます。整数・小数・分数の「四則計算」が確実にできるようにしていきます。そして、算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えたり、日常の場面で活用できる計算(算数で学習したこと)を確認したりする授業づくりを大切にしていきます。

2

学習や生活の状況



自分自身について

△「自分にはよいところがあると思う」については、81.9%(昨年度90.6%)の子どもが肯定的回答でした。2学期以降6年生だけでなく全校児童の自己肯定感をあげていきます。

- 「人が困っているときは、進んで助けてあげていますか」肯定的回答95.5%である。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思うか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」肯定的回答100%である。
- 「学校に行くのは楽しいと思うか」肯定的回答が91%である。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」肯定的回答 86.4%(昨年度84.4%)である。

家庭での生活・学習習慣について

- 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」肯定的回答した児童の割合は全国平均を上回り、100%である。(昨年度までの2年間、課題としてあげています)
- 「新聞を読んでいますか」について72.7%(昨年度84.4%)の子どもが、ほとんどあるいは全く読まないと回答している。昨年度や全国平均(89.9%)より改善されている。
- 「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」肯定的回答した児童の割合は全国平均を10パーセント以上上回り95.5%である。(昨年度までの2年間、課題としてあげています)
- 「学校の勉強のことに、家族と話しますか」について、肯定的回答が 86.4%で全国平均を10%以上上回っている。
- 「自分が、ICT機器で文章を作成することができると思うか」肯定的回答が100%である。
- 「学級で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方にきづいたりすることができているか」肯定的回答が、全国平均を10%以上上回り、86.3%である。
- ▲「学校の授業以外に、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか」について。「1時間未満(全くしないも含む)」と回答した子どもの割合が、普段(月～金)は68.1%、また土日や学校が休みの日には72.7%となっている。

2学期からは、6年生については、平日やお休みの日に、「1時間以上」、家庭学習(読書・塾等も含む)に取り組ませていきます。他学年についても「学年×10分以上」の家庭学習(読書・塾等3も含む)に取り組ませていきます。家庭でのご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

今回の結果もいかし、これからも学校と家庭と地域が連携し、子どもたちの育ちを支えていきたいと思っております。引き続き、ご支援・ご協力くださいますようよろしくお願いします。